

明治維新から昭和にかけて勅祭社とされた十の神社から読み解くする日本

東京十社が秘めた物語

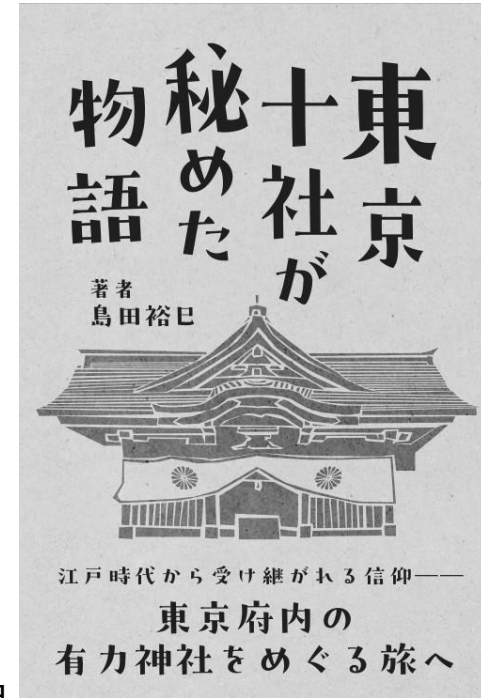
明治維新後、首都が京都から東京に移り、それに伴って畿内から東京に、お祭りの際には天皇から使いが来ると言われる12の神社が移されました。その後、昭和になり、東京23区の10の神社が東京十社とされ、天皇家と深い結びつきを得る神社として存在しています。

それら10の神社の詳細を理解し、天皇と神社、明治維新の遷都、勅祭とは何か？ 一つひとつの神社の謂われなど、「葬式は、要らない」を始めとした数々のベストセラーを手掛けた宗教学者：島田裕巳先生の仔細な読み物と東京の旅ガイドとして構成した一冊！

著者：島田裕巳(しまだひろみ) 1953年、東京都生まれ。作家、宗教学者、東京女子大学非常勤講師。日本女子大学教授、東京大学先端科学技術研究センター特任研究員などを歴任。著書に『自然葬のススメ』(徳間書店)、『葬式は、要らない』(幻冬舎)、『人間革命の読み方』(KKベストセラーズ)、『宗教は嘘だらけ』(朝日新聞出版)、「葬式消滅」(G.B)などがある。

条件：委託(常時返品可)

番線印	希望配本数	<h3>東京十社が秘めた物語</h3> <p>定価：1700円+税 四六判 並製 192P ISBN：978-4-910428-42-0</p> <p>島田裕巳著 発行・発売：(株)G.B</p>
	ご担当者名	



表紙案(変更可能性あり)

指定締め切り3月11日
FAX送付先

03-3221-8814

問い合わせ先TEL：03-3221-8013

(株)G.B <https://www.gbnet.co.jp>